



組合員委員会  
愛知板金工業組合  
発行 広報 委員  
名古屋市中区北山町  
3-8-6 〒466-0006  
電話 052-732-1226

## 第二十四回 全国建築板金競技大会

全板連・(株)日板協青年部主催の第二十四回全国建築板金競技大会が、2月9・10日の二日間昨年と同じ静岡県富士宮市「富士教育訓練センター」に於いて開催された。

愛知県代表選手として、「技能競技（ZIC）の部」には、高柳信悟君と砂塚耕二君、「建築技術（NYAC）の部」には、宇野勝義の3名



▶ あいさつする  
河田全板連青年部長



▶ 「技能競技の部」の作業風景

が出席した。ZICはバケツの製作、NYACは「築20年の店舗併用住宅の外装リフォーム」の施工図とリフォーム提案書の作成に、全国の出場者ZIC48名、NYAC11名が技を競いあった。

初日は、昨年より雪が少なく晴天で富士山がきれいに見えた。

受付終了後、開会式・記念撮影・各会場にて競技上の事

前説明（持参工具の点検、注意事項等）があり、説明後は各宿泊部屋にもどって夕食までの時間を過ごし、夕食後は明日に向かっての準備をそれぞれしていた。

二日目の朝は、曇り空であったが午前8時の競技開始までもなく、小雪が降りはじめた。

ZICの会場では、付添4名と応援3名は選手正面の所定の位置から見守る事しか出来ないが、真剣な取り組みは伝わってきた。両選手共、20分過ぎには展開図を描きあげ製作に移った。製作は、日頃のベースで作業し標準時間の三時間三十分で完成提出した。

両選手の出来ばえは、他の選手とそんなに大きく出来ていない。全体的に、標準時間が5分前まで点検している人が大半で、時間いっぱい使い使って完成している人が多かった。

NYACの会場は、競技時間四時間十五分を静寂に保つために、大会役員しか入れなかったが、別室ガラス越しに選手の背中姿が見え、最後の一分一秒まで作業に取り組んでいた。作品は、大会役員しか見る事が出来ないもので、作品の出来ばえはわからなかった。



▶ 富士山を背景に  
選手と付添人

### 委員会 報告

## 総務委員会報告

県板総務委員会は二月十九日午後三時より県板三階会議室で総務委員十三名が出席して開催した。

①総会後に講演会を開催する。講師については国保補助が受けられる講師はどうか、趣旨に沿った人に依頼。

一、新年懇親会の反省 参加者は二〇四名で過去最高の参加者、盛大であった。

②総代会後に羽柴弘和氏の黄綬褒章受章祝賀会を懇親会と兼ねて行う。

二、全板福島大会五月十五日〜十七日の申し込み状況について 十九日現在では四十二名の申し込みであるが四十五名としたい。

③総代会議長の出任については 議長の出任はその年の新年懇親会主管ブロックから選出する。

三、総代会五月二十一日について

四、その他  
①中板協総代会四月十六日  
②基幹技能士養成研修を東海四県北陸三県で秋開催

感の入り混じった表情を浮かべていた。

閉会式では、河田青年部長あいさつ、横瀬青年部担当理事の講評、勝又理事長大会会長所感と進行し、沖野青年部副部長の閉会の辞で大会が終了した。

閉会式終了後、小雪が降るなか帰路についた。

岡崎 宇野

## 厚生委員会報告

### 福利厚生施策に関心と、心の支えを！

愛知県厚生委員会では、去る二月十三日(木)斎藤副理事長、

更に各ブロック長を筆頭に厚生委員のご出席を頂き山積さ

れた議題を審議し了承された。

◎審議内容は

一、全板国保愛知支部Ⅱ報奨品の選定及び配布などについての反省点

二、全板国民年金基金の新年度より新料率が制定され、それ以前の施策として三月二十日までに新規加入と、口数の増口などを申込むと現行の料率に基づき早急に受付ける事となった。これらに付いて各々のブロックに通知し、組合員に周知するよう徹底した承を得た。

三、県板共済への更なる加入促進を計り、組合員が平等の立場でメリットを共有する為、災害・疾病の補償以外に、組合の事業計画上、大切な収入源ともなり、併せて加入者には剰余金として還付されており、加入率は全体の五〇％を割っており、今後の施策としては、八〇％の加入の確保に力を注ぎ、実現に向かって保険料の低い若年層の方々の加入を期待し、大いに理解と協力を望んでやまない。

四、全板国保への加入勧奨を強力に勧め、他の制度よりも給付関係が充実しており、更に、介護保険も一律に割安になっており、組合員の方の他の国保からの転籍を期待し、継続して勧奨を行う事となった。

## 1頁のつづき

五、労働保険年度更新の時期が到来。届けに際し書類の整理を、事業所によっては一元適用・二元適用の二種類から構成されている。

法人関係の加入事業所は昨今話題となっている取締役の範囲、(指揮命令権)を明確にすべきで確認を忘れずに、工場板金と建設請負工事は異なるので、仕訳

には充分な注意を、役員で労働者扱いの届出に関しては、貸金体系と登記簿謄本などによる突合、一般労働者とならなくなり、賃金の支払いがなされていることが条件となる。貸金集

計書の備考欄に、対象者の氏名並びに金額を明記し役所の受付印を(報酬、賃金、これらの単純な表現は認められない事がある)。

☆解釈の相違が生じるので最寄りの労基署へご相談下さい。県板では労働保険特別加入の年度更新の継続手続きの受付を実施しておりますので、期日まで報告と納付を済ませて下さい。

☆重大災害の発生は影を潜めたが、相変わらず災害が発生しているため、事故を未然に防ぐ対策として、安全の研修を積極的に採用を希望してやまない。

沼澤

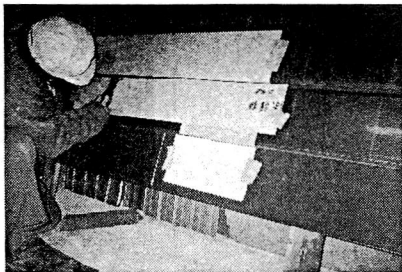
## 日新総合建材

## 「めぐみちゃん」単体の交換

「めぐみちゃん」は、なかなか交換できません。昨年実施されたソーラー講習後、愛板一宮支部の佐藤忠雄氏が愛板新聞に載せられた記事の見出しを覚えていてと思います。

一月二十九日、同氏の工場にて、「めぐみちゃん」のソーラーモジュールを取り替える工法を同氏が考案された工具と作業手順でメーカー立会いの元、実際に披露された。

日新総合建材より、谷崎裕則太陽光発電建材・商品開発チームリーダーと、名古屋支店から山田正郷・中上篤各氏が作業の様子をビデオ等に納めながら見守られました。



モジュール交換後の仕上げ工程

受講された方や施工された方は、故障や傷等で交換する場合のデメリットを思う人は多いと思います。横葺材のハゼを起せば、取り外す事は可能ですが、いかにセル(発電する部分)に傷をつけずにハゼを起せるのか、吊子を

広げ、取替え後元に戻すのかと言う事になると思います。佐藤氏は、日頃使用しているツカミ箸と折板の鼻隠しパネル取付金具を加工して、なんなく交換されました。所要時間は約三十分。取替え後は、周囲の横葺材にはほとんど傷もなく、奇麗に仕上がり、これが職人なのだと実感させられました。

工具は、尖端の長さを変え、柄の部分は焼いて湾曲させてあり、共にセルに当たらない様にしてあります。ハゼ起こしと、吊子を広げ、また元に戻す時に使用します。他に保護板とアース用のリード線があれば手道具で交換できそうです。

この作業を見ていた私は、自らのアイデアを披露された佐藤氏に敬意を表すと共にそこに凝縮された組合活動を

垣間見た思いがしました。技術研究委員のメンバーである私は、皆さんの創意工夫を今後も組合に繁栄させなければと、実感させられました。

## 『空からのめぐみ』

## リバーサイドフェスティバル

138から

愛知県板金工業組合一宮支部では、一宮のシンボル138タワーのしたで行われる2002リバーサイドフェスティバルに参加が決まった。

4月から新組合長となられる渡辺和弘氏による発案と行動によって進められてきたものである。その趣旨としては、このフェスティバルに参加することにより、組合員相互の信頼関係を構築し、地域住民の方々との交流をもつて当組合の社会的貢献を、今後とも深めていきたいこと、いま

愛知県板金工業組合が推進している、新エネルギー地域活動事業の一環として行うものである。

\*日時

5月3日から6日まで

\*営業時間

9時30分から午後5時まで

\*テントブース

2×3間

尚、これらの詳しい工法は県板を通じて提供して頂けると思っていますので、問い合わせてみては、どうでしょうか。一宮 渡辺

## ★雨水利用システム

東海豪雨にみられるように、近年、都市型洪水の発生が社会問題になっています。また、降雨量の少ない渇水期の対策も考えられます。

各家庭や施設で少しでも雨水を貯水できれば、地域全体が、水資源の大切さと利用法を実感できるのではないかと。

雨樋工事に携わる板金工事者としても、小さい頃からでも資源利用の可能性に取り組みたいものである。

## 体験コーナー

## ★銅板レリーフ

花、動物、アニメ等の絵を銅板の上に描き、浮き出させます。小学生から大人まで楽しんで銅板レリーフ作家気分になれます。

## ★オリジナルちりとり

全組合員が制作した半完成品を、指導員と共に完成させたお客様に無料又は材料代程度で差し上げます。

その他、子供の日にちなんだ行事や、食べ物、買い物、パーベキューなど1日中楽しめます。

毎年、15万人程、入場者があります。

一宮 佐藤



## 岡崎板金工業組合 第48回通常総会

2月24日、第48回岡崎板金工業組合通常総会が「レク・ワールド岡崎」に於いて開催された。

定刻の午後2時、内山英臣副組合長の開会のことばで開会され、高柳一男組合長より、組合事業を組合員がより多く活用するように呼びかけられた。優良従業員表彰では、

㈱山清板金工業の沢田雄三様、㈱岩瀬建築板金の田中悟様、㈱山板金の山本博様、那須金属㈱の砂塚耕二様、砂塚慎弥様の5名が表彰された。

議案審議は、出席者43名、委任状20名で行なわれ、13年度事業報告、会計・会計監査報告、14年度事業計画及び予算案が可決承認された。

来賓あいさつでは、梶板理事長・村上章氏、岡崎技術工学院院长理事長・山本清氏、西三板金連合会副会長・高橋銀吾氏、横山興業㈱社長様があいさつされた。

続いて、14年度のスローガン①地球にやさしく分別リサイクル②一人一件、挑戦しよう保証事業③絶対やらない、飲酒運転が発表され閉会した。

休憩後、数名の奥様方にも出席していただいて、二講演に入った。最初に、「労災保険特別加入」と題して①労災

保険とは何か②労災保険の正式名称③雇用保険について④特別加入制度の概要について⑤特別加入を認める者の範囲について⑥労災保険料について、愛知県板金工業組合・北出明治氏に講演していただいた。

次に、道路交通法が一部改正になって間もない時期なので「道路交通法改正の話」と題して、岡崎市役所交通安全課の丹羽盛秋氏に講演していただいた。講演は、問答形式に行われ解答ごとに次の事を言われていた。「高齢者に優しく!!10キロダウン・飲んだらタクシ、有料と無料」。

さて、この無料タクシーとは何かわかりますか? どちらの講演も今すぐ、自分達に関係がある事なので出席者全員が、小耳を立てて聞いていた。

講演終了後は、部屋を移って例年の如く懇親会に入った。懇親会には、問屋さん達も出席し、途中に趣向をこらしたゲームをはさみ雑談の飛びかう中、問屋さんを代表して㈱田中屋社長様の一本締めで午後8時閉会した。

前記の無料タクシーとは、丹羽氏によると奥様に送迎していただくことだそうです。

岡崎 宇野

## 西尾支部

## 新年総会

1月24日2時より平坂の勤労会館において、村上理事長、西俣西三板金副会長、谷沢事務局長、北出事務局長の御出席を頂いて、平成14年度愛板西尾支部第37回総会を行なった。

山崎支部長挨拶では「世の中はテロとか狂牛病、倒産などの暗いニュースが多いが、冬来たりなば春遠からじと申します。皆さん、風邪をひかない様、不景気に負けない様、元気でやる気だけはしっかり持って暮らしましょう。」と言われた。

また村上理事長の御挨拶では「1月20日の梶板新年懇親会に、西尾支部の方々には多くの参加を頂き有り難うございました。二〇〇五年の全板大会では愛知県が担当します、皆さんのお知恵を拝借し、

大会が成功する様お力添えを御願い申し上げます。また昨今の景気は悪く、特に建設、金融、流通の部門には厳しいものがあります。今年は住宅着工数が百万戸を下回ると言われています。リニールアル

工事の重視、太陽光発電の参入、保証制度の活用など組合組織を利用し、あるいは我が身は自分で守る事。自助努力が肝要であります。板金組合には各種保険がありますが、多くの加入者を希望し、皆さんが無災害、無事故で暮らせる様願っています。」と述べられた。

更に西俣西三板金副会長の御挨拶では「梶板新年懇親会には西三が担当で、ひがきホテルで行なわれましたが、鳥居松男氏に司会を担当して頂き、多くの方に協力を頂き有り難うございました。」

山崎支部長(右)と稲吉議長

うございました。また私は保証委員会の副委員長も担当していますが、保証制度のよりいっそうの御協力を御願い申し上げます。」と述べられた。

今年の議事としては、共同事業委員経過報告では、コーキング等の共同購入、不要材料一覧表の利用、作成の件の報告。厚生委員会経過報告では健康診断の件が報告され、従来の健康診断のコースに加え、希望者には大腸ガンと肺ガンの検査が行なわれる様にした。大腸ガンの検査は検査料金一千五百七十五円で全板国保で

他にも一年に一度行なっているが、半年に一度の検査が理想であるとの事。肺ガンの検査は検査料金二千二百円で肺や気管支のタンを調べるもの。議事終了後に産業廃棄物搬入先に関する資料が配られ、情報交換や話し合いが交わされた。

北出事務局長による労働保険の説明、啓蒙が行なわれ総会は終了した。

午後6時より香村で田中屋富士商店、タカケン、角建材の問屋を招いて懇親会が行なわれた。

西尾 大橋

## 梶板青年部岡崎支部 第23期通常総会

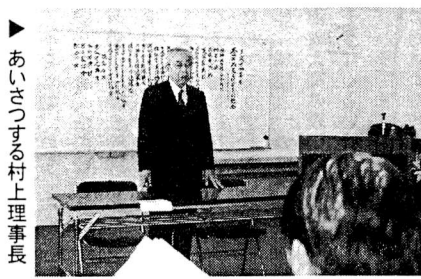
梶板青年部岡崎支部は、2月23日に、「なまら屋」に於いて第23期通常総会を開催した。

来賓として、組合より戸松副組合長・会計久世氏の2氏が出席された。

部長あいさつ、来賓あいさつの後、宇野勝義を議長に選出し、議案審議に入った。議案審議は、スムーズに進行し議案の最後に、今年役員改選の前年にあたるので、清水三男部長より、次期部長に宇野賢君を推薦したので審議に入り承認された。

総会終了後、懇親会に入っ。各場所いろいろな話題が飛び交い、楽しい時間をおしまれつつ石原晴久副部長の締めで午後十時に閉会した。

岡崎 宇野



あいさつする村上理事長



山崎支部長(右)と稲吉議長



総会風景



# 豊田板金工業組合 親睦旅行

豊田板金工業組合（赤池高義組合長）は去る2月3日（日）4日（月）の一泊二日にて親睦旅行を開催しました。全板大会を兼ねた親睦旅行が続いていたので豊田支部単独での旅行は久しぶりでした。今回の目的地は神戸と淡路島で参加人数は28名でありました。



▶参加者

当日、朝からの雨もバスが西に向かうにつれて回復してきました。バスの中は朝から絶好調でアルコールの売れ行きは最高、昼食場所の神戸三宮駅前の西村屋たじま路さんにつくころには、できあがっている方も見えました。昼食後、バスの時間を待つ間、三宮駅前の「そこう」を見に行ってみました。かつて豊田市の駅前にあったことがなつかしく思い、また7年前の震災からの復興に驚いた次第です。次に灘の菊政宗酒造に向かいましたが、今回のバスガイドさんは、無類の酒通で、酒の銘柄は勿論のこと、焼酎の原料の違い、その別れる地域等について、詳しい説明があり一同大いに感心しました。菊政宗で買った大吟醸をいた

だきつつ明石海峡大橋を渡り八淨寺にて、おもしろ法話を聞いた後、淡路観光ホテルに到着、午後6時30分からの宴会は大いに盛り上がりていました。

二日目は福良港より観潮船にのってうずしお観潮、観潮船「咸臨丸」のマストと明石海峡大橋の橋脚とがぶつかりそうなくらい接近して見えハラハラ。メインの渦潮は、その発生する仕組みを聞いて頭の中に入れても実際の光景を目の当たりにすると、何でこう成るのと言う疑問が沸いて出てくる始末であります。続いて向かったのが北淡町震災記念公園、断層を見学する前に土地の語り部の方（男性72歳）のお話をうかがいました。このお話の中で、地域としての連帯の重要なことを学びました。また、枕元に懐中電灯をおいて置くことも併

せて教わりました。後で見学した断層は垂直及び水平方向にずれていて、地面の上で生活している自分たちが、いかに危うい存在であるか思い知らされ、これがもし自分の住んでいる地域で起こったらと思いを巡らせました。

なにはともあれ、二日間の旅行は事故もなく、楽しく行てくれました。豊田 松井

## 2月各支部の動き

|                      |                           |                                     |                      |                   |                          |                                   |                            |
|----------------------|---------------------------|-------------------------------------|----------------------|-------------------|--------------------------|-----------------------------------|----------------------------|
| 名古屋板金連合会<br>19日 支部長会 | 昭和支部<br>8日 例会（全板大会参加について） | 千種支部<br>10日 支部会（今年度の活動について・合同検診の提案） | 東北支部<br>12日 月例会親睦食事会 | 熱田・南支部<br>21日 定例会 | 瑞穂支部<br>1日 支部会（厚生委員会報告等） | 一宮支部<br>14日 役員会<br>24・25日 青年部親睦旅行 | 春日井支部<br>8日 月例会<br>23日 役員会 |
| 4名                   | 14名                       | 5名                                  | 8名                   | 20名               | 18名                      | 17名                               | 14名                        |

|                |                         |                                             |                                      |                                                          |                                       |                                |                                                    |                                             |
|----------------|-------------------------|---------------------------------------------|--------------------------------------|----------------------------------------------------------|---------------------------------------|--------------------------------|----------------------------------------------------|---------------------------------------------|
| 津島支部<br>5日 定例会 | 西春支部<br>17・18日 総会・松本屏温泉 | 岡崎支部<br>14日 青年部役員会<br>23日 青年部総会<br>24日 支部総会 | 碧南支部<br>16日 青年部役員会<br>20日 青年部ボーリング大会 | 豊田支部<br>3・4日 親睦旅行・神戸淡路島<br>9日 第10回役員班長会<br>23日 支部ボーリング大会 | 刈谷支部<br>4日 定例会<br>24・25日 支部総会・三谷温泉海陽閣 | 西尾支部<br>14日 支部役員会<br>20日 単独勉強会 | 知多支部<br>6日 理事会<br>8日 青年部競技大会の反省会<br>23日 青年部ボーリング大会 | 東三支部<br>5日 定例会<br>23日 青年部役員選手慰労会<br>25日 役員会 |
| 8名             | 30名                     | 30名                                         | 43名                                  | 28名                                                      | 16名                                   | 18名                            | 17名                                                | 24名                                         |

## 編集後記

一昨年から県板で取り組んでいる太陽光発電システムが昨年は講習会やイベントに出品して一般の方にも関心を寄せることとなった。

名古屋から新幹線の下りに乗り十分走り長良川を渡ると右側に大きな箱舟をイメージした巨大な黒い鏡が出現する。言うまでも無いが三洋電機の岐阜工場の正面にそびえる「ソーラーアーク」である。長さが三百十五m高さが三十七・一mあり海に浮かぶ箱舟をイメージして建設されている。箱舟の前には駐車場がありその駐車場の屋根もソーラー発電が波をイメージして出来たという。

「ソーラーアーク」とは世界最大の3・4メガワットの発電能力をもつシステムであり別名メガソーラーとも呼ばれる。

一九九七年に京都で地球温暖化国際会議が開かれてからは世界規模の環境保全に取り組みが求められている。

太陽光発電は今後も旺盛な需要を期待されることから私たちも積極的にかかわって行きたい。

二月二十六日（火）曇  
三六九号 編集会議  
広報委員 七名出席  
午後五時終了 驚見

## 平成14年度 訓練生募集

訓練で技能を磨こう!!

### 愛知県板金技能専門校

名古屋市区浅間2-10-4

☎(052)532-0262

### 碧南建設高等職業訓練校

碧南市新川町2-129

☎(0566)41-4523

### 岡崎技術工学院

岡崎市羽根町字小豆坂117-3

岡崎地域職業訓練センター内

☎(0564)53-3521

### 豊田高等職業訓練校

豊田市陣中町1-22-2

☎(0565)32-5454

### 豊橋高等技術専門校

豊橋市前田南町2-19-7

豊橋市職業訓練センター内

☎(0532)55-0519

▶詳細は各訓練校にお問い合わせください。